

Title	三田商学研究第30巻 自第1号至第6号 総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	
Publication year	1988
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.30, No.6 (1988. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19880225-04054356">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19880225-04054356</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究 第30卷 自第1号  
至第6号 総目次

【号・頁】

## 論 文

私と国際経済学——最終講義——	白石 孝	1・1
経済発展に果たす無制限の要素供給の役割	矢内原 勝	1・18
日本経済の長期的発展とエネルギー需給		
——石油輸入に重点をおいて——	深海 博明	1・34
一人当たり実質所得の国際比較とその換算レート		
——為替相場と購買力平価——	福島 義久	1・52
関税政策の意義と役割		
——理論的再検討——	大山 道広	1・75
「分業」の視点から見た中国第7次5ヶ年計画		
——その進歩性と実施上の諸制約——	唐 木 罔 和	1・97
経済発展戦略の比較		
——台湾と韓国について——	陳 俊 龍	1・115
金融連関構造とその変容		
——インドと韓国の事例——	高 梨 和 紘	1・127
国際寡占と貿易政策	和 気 洋 子	1・146
直接投資と工程間分業の理論	馬 田 啓 一	1・165
インドネシアにおける工業品輸出と輸出促進政策		
——輸出促進政策の予備的考察——	小野田 欣 也	1・175
規模の経済性が存在する下での保護主義勢力と関税政策	長谷川 聰 哲	1・197
課税及び公共財生産の内生化モデルと貿易	寺 崎 克 志	1・201
中高年(者)の生活環境と生活保障		
——社会的視角に立って——	庭 田 範 秋	2・1
F検定の応用によるノンパラメトリック検定の試み	岡 本 大 輔	2・20
現代巨大企業の多角形的展開		
——BASF社における多角化・多国籍化形態の考察を媒介として——	植 竹 晃 久	2・28
国際金融構造の分析方法について	赤 川 元 章	2・54
1880年代から1920年代におけるアメリカ電機産業の海外進出	吉 田 正 樹	2・73
企業内昇進における「効率」と「動機づけ」		
——わが国企業における資格制度の機能について——	八 代 充 史	2・92
エネルギー価格変化と資源配分		
——一般均衡モデルによる租税政策効果——	黒 田 昌 裕	3・1
	桜 本 光	
	河 井 啓 希	
会計的統合の系譜 (I)		
——アウトプット理論を中心として——	笠 井 昭 次	3・32

日本型下請生産システムの国際移転可能性……………	高 橋 美 樹	3・48
近年における企業の負債依存の低下について		
——資本構成理論の倒産コストモデルを使って——……………	辻 幸 民	3・71
1920年代における損益分岐分析ならびに変動予算について		
——固定費と変動費との分解をめぐる——……………	梅 田 守 彦	3・103
新共済事業論		
——その理念と運動路線——……………	庭 田 範 秋	4・1
批判的合理主義における合理性原理の身分と役割……………	榊 原 研 互	4・19
	菊 沢 研 宗	
会計的統合の系譜 (Ⅱ)		
——アウトプット理論を中心にして——……………	笠 井 昭 次	4・31
アメリカおよびドイツ電機産業におけるカルテル形成とその国際化について		
——戦前のGEを中心にみた特許支配とカルテルによる市場統制——……………	吉 田 正 樹	4・51
「反奴隷制協会」の研究		
——19世紀前半イギリスにおける反奴隷制運動の一断面——……………	近 藤 尚 武	4・76
原価計算の対象と方法……………	山 口 操	5・1
豪州企業の内部組織		
——オーストラリア企業経営の実証研究(2)——……………	藤 森 三 男	5・17
四国における機械工業系企業の課題		
——メカトロニクス化および人材育成に関する調査から——……………	鈴 木 勝 美	5・33
中小企業財務の現状に関する一考察……………	中 垣 昇	5・50
予算管理における動機づけ要因に関する実証研究……………	坂 口 博	5・66
イノベーションとトップ・マネジメント		
——我国上場製造企業241社のアンケート調査を中心として——……………	十 川 広 国	5・88
損益計算書と貸借対照表との計算構造的関連について……………	笠 井 昭 次	5・102
多国籍企業の国際R&Dネットワークと企業内国際逆技術移転戦略……………	林 偉 史	5・116
付加価値計算書分析		
——理論と実践——……………	伊 藤 俊 雄	5・132
付加価値計算書の展開		
——フランスにおける社会的側面——……………	黒 川 保 美	5・150
企業倒産に関する研究 (Ⅱ)		
——定性的データを中心として——……………	岡 本 大 輔	5・167
「真実且つ公正なる概観」考 <その3>		
——意を中心に——……………	友 岡 賛	6・1
意思決定会計と問題解決過程(1)……………	小 林 啓 孝	6・35
会計的統合の系譜 (Ⅲ)		
——アウトプット理論を中心にして——……………	笠 井 昭 次	6・48
生活と生産をめぐる危険と保障……………	庭 田 範 秋	6・62
最近に於ける日本経済の貯蓄と投資……………	鈴 木 諒 一	6・85
F.シュミット経営経済学と一般均衡理論		
——インフレに関する経営経済学的理論——……………	菊 沢 研 宗	6・98

研究ノート

「客観性概念」論 <その1>			
——伝統的な解釈を中心に——	友 岡	賛	2・111
「客観性概念」論 <その2>			
——主観的な要因の認識を中心に——	友 岡	賛	3・124
サービス・マーケティングにおける人間的相互作用に関する概念枠組	金	聖 突	3・137
「客観性概念」論 <その3>			
——「合意」としての解釈を中心に——	友 岡	賛	4・96

資 料

社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ (2)			
——元通産大臣, 商工委員会委員長, 曙ブレーキ工業社長, 東京電気社長, TDK社長, 秩父セメント会長——	清 水	龍 瑩	2・118
社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ (3)			
——東京電力副社長, 東亜燃料工業社長, 川崎製鐵社長, 三菱倉庫社長, 三菱 商事会長, イビデン社長, 名古屋相互銀行社長, 三洋証券社長, 野崎産業社長, 大洋漁業社長, 日本アイ・ビー・エム社長, 服部セイコー社長——	清 水	龍 瑩	3・153
社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ (4)			
——慶應義塾長, 東京大学総長, 松下電器産業社長, 大和ハウス工業会長, アルプス電気社長, クラリオン社長, 日産自動車社長, 日立製作所社長, パイオニア社長, リコー社長, 東京海上火災保険社長——	清 水	龍 瑩	4・110
社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ (5)			
——キャノン社長, 三菱銀行副頭取, 住友不動産社長, 新日本製鐵会長, 富士写真フイルム社長, 鹿島建設社長, 富士通社長, 日本郵船社長, 住友 銀行頭取, 住友化学工業社長, キリンビール社長, 協和醗酵工業社長——	清 水	龍 瑩	5・184
社長および各界リーダーのインタビュー・サーベイ (6)			
——トヨタ自動車社長, 明治生命保険社長, 第一生命保険社長, 日清製粉 社長, 日本電気社長, 積水化学工業社長, 三井造船社長, 日本生命保険社 長, 大日本印刷社長, 大成建設社長, 津田駒工業社長, 渋谷工業会長, 興和社長, グラフテック社長, ミネベア会長, 田中貴金属工業社長——	清 水	龍 瑩	6・123

そ の 他

白石孝教授退任記念号 序	清 水	龍 瑩	1・巻頭
和田木松太郎教授追悼号 序	田 村	茂	5・巻頭
わが和田木松太郎先生を偲ぶ	藤 森	三 男	5・222
白石孝名誉教授略歴および業績リスト			1・225
故和田木松太郎教授略歴及び業績目録			5・224